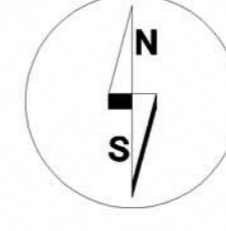


泉川水系泉川洪水浸水想定区域図 (計画規模)

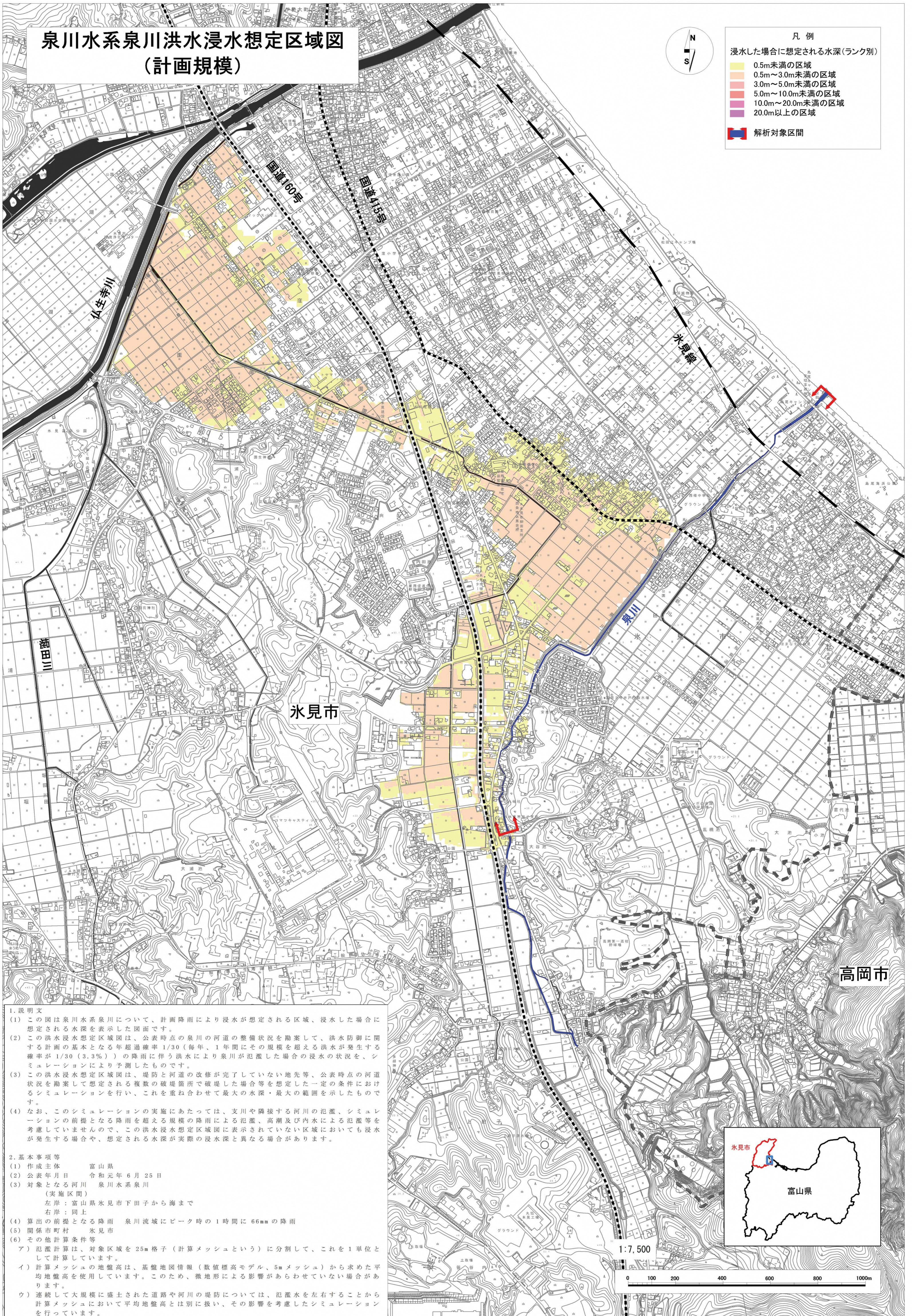


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m~3.0m未満の区域
3.0m~5.0m未満の区域
5.0m~10.0m未満の区域
10.0m~20.0m未満の区域
20.0m以上の区域

解析対象区間



1. 説明文

(1) この図は泉川水系泉川について、計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の泉川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/30(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30(3.3%))の降雨に伴う洪水により泉川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) この洪水浸水想定区域図は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破壊箇所等での想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大水深・最大範囲を示したものです。

(4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に表示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体 富山県

(2) 公表年月日 令和元年6月25日

(3) 対象となる河川 泉川水系泉川
(実施区間)
左岸:富山県氷見市下田子から海まで
右岸:同上

(4) 算出の前提となる降雨 泉川流域にピーク時の1時間に66mmの降雨

(5) 関係市町村 氷見市

(6) その他計算条件等

ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。

イ) 計算メッシュの地盤高は、基盤地図情報(数値標高モデル、5mメッシュ)から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわせない場合があります。

ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

